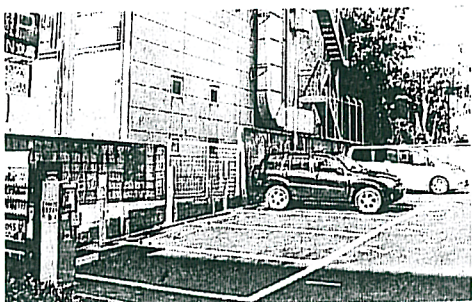


カメラで車両ナンバー管理



駐車場の後方に設置したカメラ内蔵のポールを使って車両を管理する(東京都内の駐車場)

駐車場内には車両ナンバーを読み取るカメラを内蔵したポールと、監視カメラを設置し、車両の出入りを検知するセンサーをアスファルトに埋設する。

車が駐車場に入ってくると、車両ナンバーを記録、インターネット回線を通してアイテックのデータセンターに記録する仕組みだ。

駐車場用機器の設計・販売を手がけるアイテック(東京・新宿一ノ瀬啓介社長)は「ロック板」を設置せずに駐車車両を管理するシステムの販売を始めた。カメラで車両ナンバーを識別し、不正出庫を防ぐ。ロック板を置く場合に比べ、車の出し入れや掃除がしやすい点を駐車場の運営業者に売り込む。今後1年で計2000台分の駐車場への導入を目指す。

駐車場、「ロック板」不要

アイテック、出し入れ簡単

カメラを内蔵したポールには照明も取り付けて

いるため、夜間でも車両ナンバーを認識できる。料金精算せずに不正に出庫した場合は警備員が駆けつける。

ロック板を使う駐車場に比べ、機器・看板などの設置費用は1割程度高くなるが、ロック板と接触することで車体が傷つく恐れがないうえ、運転技術に自信のない人でも駐車スペースに車を入れやすい。

アイテックは駐車場の稼働率向上で設置費用の増額分を吸収できるとみている。

すでに東京都内を中心に10カ所強の駐車場で新システムを導入した。年内をめどに埋設式のセンサーを使わずにカメラで

車の入出庫を認識できるシステムも開発。アスファルトによる舗装をしていない砂利敷きの駐車場などでも対応できるようにする。

アイテックは1997年の設立で資本金は1000万円。駐車場用機器の設計・販売のほか、駐車場の管理業務も手がける。2009年7月期の売上高は約24億円だった。